

平成25年度 第3回新潟労働局公共調達監視委員会(概要)

第3回新潟労働局公共調達監視委員会が、平成26年1月28日に開催されましたので、審議概要についてお知らせします。

(参考)新潟労働局公共調達監視委員会は、「随意契約の適正化の一層の推進について」(平成19年11月2日公共調達の適正化に関する関係省庁連絡会議)の趣旨を踏まえ、工事及び物品・役務等の競争入札案件並びに随意契約案件を第三者機関において審議することにより、新潟労働局が締結する契約が適正に行われるよう監視するため、平成19年12月25日に設置されたものです。

〔審議日程等〕

〈日 時〉	平成26年1月28日 9:30～	
〈会 場〉	新潟労働局 第2小会議室・審査室	
〈委 員〉	委員長 小林 大造	小林経理事務所(公認会計士)、小林和雄税理士事務所(税理士)
	委員 村山 六郎	村山六郎法律事務所(弁護士)
	委員 大串 葉子	新潟大学経済学部(大学准教授)
〈事務局〉	新潟労働局総務部総務課	
〈審査対象期間〉	平成25年8月1日～25年11月30日契約締結分	

〔審議概要〕

1 平成25年8月1日～平成25年11月30日の契約分に係る審議

(事務局) 平成25年8月1日から同年11月30日までの期間において締結した契約は、予定価格が250万円を超える「公共工事」はなかった。予定価格が100万円を超える「物品・役務等」の契約は、競争入札の3件であった。

本日は、この3件について審議をお願いする。

なお、1月9日に開催された公共調達審査会での審査結果は、この3件とも、特に問題なしであった。

主な審議内容

〔競争入札〕

① 「平成25年度下半期分 再就職支援セミナー開催・運営委託」について

(委員) この種の案件は、物品の購入と違って、提供したサービスの内容がきちんと履行されているのか検証することが大事である。受講者は、セミナーを受けて、スキルが向上して、就職につながっているのか。それを検証しないと、こなし仕事になってしまう。

受講者からアンケートを取っているが、アンケートだけでは検証は難しい。次回以降、同じ入札方法でよいのかなど、検討する余地があると思われる。

(事務局) 今後、検討していきたい。

(委員) セミナーの予定価格は去年と同じか。

(事務局) セミナーの回数が増えていること等から相違しているものと思われるが、計算方法、積み上げの仕方は去年と同じである。

② 「平成25年度新潟労働局管内の行政文書廃棄処理業務委託(単価契約)」について

(委員) 所謂「㊟」扱いの文書も契約の対象か。

(事務局) 対象である。

(委員) 他の応札業者の入札額と比較して随分単価が安いが、この単価できちんと廃棄されるのか心配だ。その検証はどうやって行うのか。

(事務局) 落札業者の廃棄処理の方法は「破碎」である。また、今回、初めて労働局の文書廃棄を行うものでなく、今までも中越地区の安定所、監督署の文書廃棄をしてきた実績がある。
また、廃棄文書は段ボールに梱包し、段ボールを開封することなく破碎処理するもので、安定所、監督署の職員が立ち会って行われる。

2 審議結果

今回の審議案件については、特に問題なしと考える。